KUWANA CITY COUNCIL No.6 2013.8.15
〈発行〉桑名市議会 〈編集〉広報広聴委員会
三重県桑名市中央町二丁目37番地 Tel.0594-24-1304

くわな市議会だより

平成25年6月定例会号
第6号
発行日 平成25年8月15日

小学校のふるさと発見ランチで
提供された桑名産の冷麦

「天日干しされた桑名の冷麦」

三重県では伊勢手延素麺（いせてのべそうめん）として古い歴史と伝統、技術が永く後世に伝えられています。
桑名でも清廉（せいれん）な水系と鈴鹿山脈から吹き降ろす鈴鹿おろしによって麺を乾燥させるのにうってつけの土地であったため、農業の副業として江戸時代に始まり、今日までそうめんや冷麦の生産が続いています。
暑い時期の冷麦は、のどごしがよくておいしいですね。

目　次

01　表紙
02　特集「議会報告会」
03　特集「議会報告会」
04　特集「議会報告会」
05　政務調査費公開
06　6月定例会の概要
07　総務政策委員会の概要／福祉安全委員会の概要
08　教育経済委員会の概要／建設水道委員会の概要
09　新病院の整備等に関する特別委員会の概要／代表質疑
10　代表質疑／議案質疑
11　議案質疑／一般質問
12　一般質問
13　一般質問
14　市議会からのお知らせ／議会活動状況報告

クローズアップ!!

議会報告会のアンケート結果等をお知らせします。

桑名市議会では議会基本条例に基づき、これまで3回、議会報告会を開催してきました。

これは市民の皆様に開かれた議会を目指し、全議員が4班にわかれ、各定例会の概要や事業説明、意見交換等を行ったものので、これまで多くの市民の皆様にご来場いただきました。

今号では、議会報告会で提出いただきましたアンケート結果や、寄せられた市民の皆様からの質問とそれに対する回答、ご意見等をお知らせします。

■参加人数

開催場所	市民会館	大山田公民館	多度町総合支所	長島町総合支所	合　計
第1回	47	34	34	51	166
第2回	35	15	31	13	94
第3回	28	37	28	39	132
合　計	110	86	93	103	392

※大山田公民館の第2回は大山田コミュニティプラザで開催。

参加人数のうちアンケートを提出していただいた方のデータです。

■男女比

男	女
272人	46人

■年齢比

20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
2人	6人	24人	56人	122人	109人

■Q1:参加しやすい日時はいつですか。

平日の夜	土・日曜日の午前	土・日曜日の午後	土・日曜日の夜	その他
99人	13人	24人	40人	12人

■Q2:議会だよりを読んでいますか。

すべて読んでいる	関心のあるページだけ読んでいる	ほとんど読まない	読んだことがない
28人	71人	14人	1人

■Q3:本会議のケーブルテレビ放映を見たことがありますか。

毎回見ている	ほとんど見ている	内容によってたまに見る	ほとんど見たことがない	まったく見たことがない
5人	10人	28人	30人	35人

●Q1は第1・2回報告会のみ、Q2・3は第3回報告会のみの設問です。

市民会館での ご質問、ご意見

第一回

Q 高齢化社会に伴い支出が増えるとの説明だが、さらに増えた場合、市としてどう考えているのか。

A ハード面予算を少しずつ高齢者分予算に移し、重点的に福祉の割合を増やしていく。

Q 駅西区画整理は何年頃完成か。

A 昭和47年から始まり、完成予定は平成37年3月末。

Q 桑名市の借金はどれくらいあるのか。第二の夕張にならないか。

A 地方債は平成22年度一般会計で516億円。特別会計や債務負担も含むと1246億3471万円。第二の夕張にはならない。

・議会基本条例を制定する趣旨説明がわかりやすく理解できた。
・時間が十分でなかった。
・議員の声（考え方）は聞けず、決定されたことの説明なら必要なし。

第二回

Q 桑名駅西口をバリアフリー化するとのことだが、トイレは改修しないのか。

A 平成24年9月補正予算で近鉄桑名駅のバリアフリー化のための設計費は計上され、改修も含んでいる。

Q 桑部橋、坂井橋付近でよく渋滞するが、県道なので県に橋の増設や拡幅の要望をしてほしい。

A 員弁川の改修に関連して、桑部橋の改修を知事に要望した。県道桑部播磨線の拡幅工事がこれから進められていく。それに伴って桑部橋も新設されるが、時期は明言できない。

・議員定数について、判断材料が必要である。
・駅前活性化対策が必要。
・県境を越えた地域づくりが必要。
・桑名市の行財政の現況を理解することができたと思う。

第三回

Q 大和地区の前市長との懇談会で、「市の財政について赤字か黒字か」と質問したら前市長から「黒字」との回答があったが、市議会はどのように考えているか。

A 民間企業とは違い、起債（借金）をしても歳入とみなされる。民間であれば負債となる。会計上の処理の仕方から単に黒字・赤字とはいえない。

Q （仮称）城南地区防災センターはどのようなものなのか。

A 堤防道路までかさ上げされた土地に国の事業で河川防災ステーションとしてヘリポート等が整備される。市が和室や会議室等の建物を整備する。

・短中長期的な展望にたった上での説明が必要。
・新聞報道にあったが、新市長の公職選挙法違反に関し、市議会ではどのように対応していくのか。真相を究明すべきでは。

大山田公民館での ご質問、ご意見
（第二回は大山田コミュニティプラザ）

第一回

Q 桑名市の多額な借金はどのようにして出来たのか。

A 大きな要因としては、海抜0m地帯が多く、国策からも下水道を普及させた。借金の4割以上が下水道債で、内水排除の関係等もあり、この設備にも多く使われた。

Q 桑名市総合医療センターはどのようなものになるのか。

A 開業医とも連携しながら、二次医療自己完結型ができるよう設備及び医療機器等の整備を推進していく。

・質問内容が幅広いテーマとなっているので、ある程度絞って具体的に説明してはいかが。
・市民と議員が直接対話できたことは有意義であり、継続願いたい。

第二回

Q 職員の定員適正化とは何か。

A 行政改革の「チャレンジプラン2010」を進めて職員の削減を行っている。正規職員が50%割っている部署もある。各課に事務分掌があり、それに見合った職員が配置されているかが議論されるべきである。

Q 議会の傍聴は平日仕事をしている人は行けない。土日に議会をしたら。

A 参考意見として、議会改革検討会に報告する。

・市民の参加人数が少ない。周知方法や開催日時の検討を。ソーシャルネットワークを活用すべきでは。説明は議会用語ではなく誰にでもわかる言葉で。
・桑名市の借金を減らそうという意識が不足している。
・定数削減に反対。頭数の問題ではなく、いかに働く議員を選ぶかではないか。

第三回

Q 副市長について国から来た方と県から来た方でなぜ黒が違うのか。

A 採決結果は各議員の意思が入っている。反対者は天下りなどのことも考慮されたのではないか。

Q 市の上下水道が値上げする大きな理由は何か。

A 7月使用分から上下水道料金が改定される。景気の低迷や節水機器の普及などで水の需要が減少し、経営が悪化していることと、地震災害対策や老朽化対策に必要な財源不足などがある。

・いろいろな意見があり、毎回面白い。こういう席ができたのは進歩だと思う。
・予算の大きな枠組みはわかったが、細部の説明がなく、理解不足となった。
・北勢線と養老線の支援は特定の市民しか利益がなく、大多数の市民の負担になっているので、議論してほしい。

多度町総合支所でのご質問、ご意見

第一回

Q 健康増進施設の予算を削除ということはいらないということか。

A いらないわけではなく新病院の建設等があり、時期が悪いということ。

Q 健康増進施設は地域活性化や災害対策との説明も聞いたが、健康増進の機能は残されているか。

A 健康増進の機能に防災、地域活性化の機能を加えた。

Q 中部国際空港に向かう航空機の騒音調査はしているか。

A 出来た当初からしている。現在は基準内と聞いている。

・質問に対する回答がわかりにくい。
・意見交換の時間をもっと多く設定してほしい。
・議員発議の案件の説明がほしい。

第二回

Q 表決結果で反対する人は同じ人なのか。何でもかんでも反対はよくないのでは。

A 議会だよりの表決結果は全員賛成されたものは省略していますので、何でも反対というわけではない。議会で話し合い、個人で考えて表決している。

Q 政務調査費を使って市に反映させたものは何かあるのか。

A 現在のコンピュータシステムのことで先進地に視察に行き、桑名市も取り入れた経緯もある。政務調査費は領収書も添付してあり、閲覧も可能。

・専門用語が多かった。
・パソコンのない高齢者の人も関心が高いので、このような報告会はよいと思う。
・定期的な開催を望む。
・資料は事前にもらわないと質問がしにくい。

第三回

Q 昨年度の予算と比較して本年度は政策的にどのような変化があったのか。

A 新市長が就任して間もないため経常経費や債務負担行為で編成された骨格予算。6月定例議会に新市長の考えも入れた予算が提出される予定。

Q 健康増進施設について湯は枯れていないか。今までいくらかかったか。

A 定期的にお湯を流しているので枯れていないと思われる。井戸を掘るのに1億、土地購入に2億、そのほか造成、設計費で合計約5億円。

・要望に対する回答がない。
・予算や事業内容等の説明では意味がない。議会でどのような議論をしたかを聞きたい。
・市政についてどこまで議員に聞けるのか。本来桑名市が行うことで、市議会で行うことには疑問。来る方は議会と市政を混同しがち。

長島町総合支所でのご質問、ご意見

第一回

Q 自主防災組織の育成事業費について昨年度と比較して増額したか。

A 昨年度の当初予算額と同額。

Q 市税条例の一部改正とは。

A たばこ税の税率変更など。

Q 前市長の辞職勧告を求める議案について、なぜ不採択になったのか。質疑や討論はあったのか。

A 賛成7、反対21で不採択となった。討論はなかった。

・意見交換の時間がもっとあったらよかった。
・同時開催でなく、複数日程で報告会を開催してほしい。
・質疑応答で議員の明確な説明ができていない。

第二回

Q 伊曽島小悠分校と長島中悠分校の県立特別支援学校への移管を求める意見書はどうなったのか。

A 全会一致で採択され、議長が知事に提出した。議会として更に県に要望していく。

Q ながしま遊館整備事業は合併特例債を活用しているのか。

A 基金等を活用しており、合併特例債は使用していない。

・会計報告が口頭で早く、理解が難しかった。
・市民への広報活動を拡大して。

第三回

Q 本庁舎耐震補強工事や城南地区防災センターの予算は上がっているが、長島地区での避難場所等の予算化はされているのか。

A 合併前の約束事項も踏まえ、政策議論を始めたところと聞いている。平成24年の最終補正予算では長島北部小屋上にフェンス等の整備費用が計上された。

Q 防災計画の見直しについて、桑名市ではどうなっているか。

A 見直しがされている。避難方法や場所についても市と議論はしているが、地域自治会での一時避難場所の確保等もご協力をお願いしたい。

・新市民病院に期待しています。
・防災、減災について総合的な検討をお願いしたい。
・12月市長選で新市長の公職選挙法違反の恐れがあるとのことだが結果は。

これらのほか、たくさんのご質問、ご意見をいただきました。すべてのご質問や回答、ご意見は市議会ホームページの「議会の情報」の中の「議会報告会」の「実施結果報告書」をご覧下さい。

次回、第4回議会報告会は、11月1日(金)に行う予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

平成24年度 桑名市議会 政務調査費使途状況を公開します!!

会派や議員は、調査研究に必要な経費の一部として「政務調査費」を受けることができます。平成24年度の支出状況は、次のとおりです。政務調査費は、一人につき、月額5万円が交付されています。(交付決定額を超えた額は、自費負担しています。)

(単位:円)

会派及び議員(交付額)	支出内訳								支出合計	※補足
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	人件費	事務費		
桑風クラブ・無会派 7人 (4,050,000)	568,395	1,236,724	49,140	9,480	213,874	0	0	33,589	2,111,202	※7月分から1人追加
フォーラム新桑名 4人 (2,400,000)	249,320	286,780	0	172,081	0	0	0	120,682	828,863	
新桑会 4人 (2,400,000)	337,100	768,771	6,105	136,000	286,366	0	0	27,133	1,561,475	
新自由クラブ 4人 (2,400,000)	688,985	1,041,621	0	321,645	0	0	0	127,419	2,179,670	
希望 4人 (1,800,000)	12,615	533,055	0	31,125	1,019,137	11,548	0	26,130	1,633,610	※7月～3月
日本共産党桑名市議団 2人 (1,200,000)	270,780	0	0	41,533	631,544	0	7,320	186,519	1,137,696	
公明党桑名市議員団 2人 (1,200,000)	152,054	0	0	89,100	0	0	0	7,402	248,556	
辻内裕也 (250,000)	0	71,170	0	0	0	0	0	0	71,170	※11月～3月
倉本崇弘 (150,000)	0	4,060	0	0	0	61,898	0	0	65,958	※4月～6月
伊藤惠一 (150,000)	0	97,878	1,497	25,093	24,440	0	0	1,518	150,426	※4月～6月
伊藤研司 (150,000)	0	0	0	0	150,435	61,898	0	0	212,333	※4月～6月
清水教代 (150,000)	0	0	0	0	0	61,898	0	0	61,898	※4月～6月
岡村信子 (150,000)	0	0	0	3,045	0	0	0	0	3,045	※4月～6月
善誠会 2人 (700,000)	39,000	135,947	0	0	140,186	0	0	0	315,133	※4月～10月

政務調査費教えてQ&A

Q どんなことに使っているの?
A 先進事例の調査研究や各種資料の購入など、政策立案能力の向上とチェック機能の充実、強化のために使っています。

Q 余ったらどうするの?
A 残金は返還します。

Q 何に使ったかは公開しているの?
A 政務調査費収支報告書を作成しており、公開しています。報告書には、すべての領収書の添付を義務付けています。

Q 収支報告書はどこで見ることができますか?
A 議会事務局において閲覧することができます。閲覧時間は月曜日から金曜日(休日は除く)の午前8時30分から午後5時15分までです。

※平成25年3月から地方自治法の一部改正により、名称が「政務調査費」から「政務活動費」に変更されました。これに伴い市議会では新しく「政務活動費の手引き」を作成し、現在運用しています。手引きは市議会ホームページをご覧下さい。
桑名市議会では、今後も政務活動費の使途の適正化に取り組むとともに、調査研究活動の成果が市の発展に寄与するよう努めていきます。

6月定例会の概要

6月12日から7月2日までの21日間の日程で開催しました。

今定例会では、「平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)」のほか、「桑名市総合計画審議会条例の制定」や「子どもの笑顔を守るまち　くわな～子どもを虐待から守る都市宣言～の制定」など18議案、「桑名市職員の給与の特例に関する条例の制定」など追加議案2議案を審議し、いずれも可決しました。

このほか、教育委員の人事案件(追加議案)他1件に同意しました。請願として、「風疹の予防接種費用に公費助成を求める請願」は趣旨採択し、その他の請願3件については不採択としました。また、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの経営状況に関する書類の提出」等8件の報告がありました。

平成25年6月定例会主な表決結果

(議案22件、報告8件、請願4件)

区分	番号	件　名	賛成	反対	退席
議案	第51号	専決処分の報告及び承認を求めるについて(桑名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	26	2	1
	第52号	平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)	23	6	0
		平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)に対する修正案	6	22	1
	第54号	平成25年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	26	2	1
	第56号	桑名市総合計画審議会条例の制定について	22	6	1
	第57号	桑名市行政改革推進委員会条例の制定について	22	6	1
	第58号	桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	20	8	1
		桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に対する修正案	6	22	1
	第60号	桑名市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について	26	2	1
	第61号	桑名市子ども・子育て会議条例の制定について	23	6	0
		桑名市子ども・子育て会議条例に対する修正案	6	22	1
	第64号	市道の認定について	28	1	0
	第65号	子どもの笑顔を守るまち　くわな　～子どもを虐待から守る都市宣言～の制定について	24	5	0
	第66号	桑名市職員の給与の特例に関する条例の制定について	17	12	0
	第67号	桑名市長及び副市長等の給与の特例に関する条例の特例に関する条例の制定について	17	12	0
	第68号	教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	19	10	0
	第69号	固定資産評価員の選任につき同意を求めるについて	26	3	0
請願	第1号	TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加に反対する請願	4	24	1
	第2号	風疹の予防接種費用に公費助成を求める請願	28	1	0
	第3号	新病院建設場所の検討と太陽の光を求める請願書	3	26	0
	第4号	消費税増税中止意見書の採択を求める請願	6	23	0

※全会一致で可決された議案等は省略しています。※議長は採決に加わりません。
※請願第2号「風疹の予防接種費用に公費助成を求める請願」については、趣旨採択することについての表決結果を表示しています。

※議員別表決結果は桑名市議会ホームページをご覧下さい。

総務政策委員会　委員会審査の概要

■審査案件　委員会開催日:6月25日〔審査件数:8件〕

- 議案第52号　平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)　所管部門
- 議案第56号　桑名市総合計画審議会条例の制定について
- 議案第57号　桑名市行政改革推進委員会条例の制定について
- 議案第58号　桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について　ほか3議案
- 請願第　4号　消費税増税中止意見書の採択を求める請願

主な質疑

平成25年度桑名市一般会計補正予算の所管部門に対する質疑

◆総合計画策定事業費について

Q 市の最上位計画である総合計画が変更されるのであれば、今まで策定してきた他の計画への影響が大きいと考えるが、他の計画との整合性を保っていけるのか。

A 今回、まずは市長のビジョンと最上位計画である総合計画の整合性を図るため、新たに総合計画を策定するものである。他の計画についても、総合計画との整合性を図っていく必要があるので、今後、各所管が見直しの段階で整合性を図っていくものと考えている。

◆長島町総合支所の施設維持補修費について

Q 空調設備改修経費として3,000万円が計上されている。市として総合支所をどう活用していくかを考え、合併後10年という節目を見据えた上での予算計上をしていくべきではないか。

A 長島町総合支所2階・3階部分の空調設備の改修については検討の余地もあるので、全体的な使用方法についてさらに議論を深め、有効な方法を検討していきたい。また、今後の総合支所の活用についても、より広く意見を求めて検討していきたいと考えている。

◆消防水利施設整備事業費について

Q 消火栓の点検状況はどのようになっているか。

A 最低でも年2回各消火栓を回って調査しており、消火栓本体の修繕が必要なものは現状38箇所把握している。予算の都合等もあるが、着実に進めていきたい。

福祉安全委員会　委員会審査の概要

■審査案件　委員会開催日:6月25日〔審査件数:7件〕

- 議案第52号　平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)　所管部門(特別委員会所管部門を除く)
- 議案第59号　桑名市国民健康保険税条例の一部改正について
- 議案第60号　桑名市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 議案第62号　桑名市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
- 議案第65号　子どもの笑顔を守るまち　くわな　～子どもを虐待から守る都市宣言～の制定について　ほか1議案
- 請願第　2号　風疹の予防接種費用に公費助成を求める請願書

主な質疑

平成25年度桑名市一般会計補正予算の所管部門に対する質疑

◆自治会経費について

Q コミュニティ支援事業助成金の申請はどのように行うのか。

A 宝くじ協会の収益金の一部を活用した助成金であり、単一自治会、連合自治会から市に申請を行い、それを市が県に申請を行い、県が取りまとめて申請を上げ、認められた場合、市を経由して補助金を交付する。

子どもの笑顔を守るまち　くわな　～子どもを虐待から守る都市宣言～の制定についてに対する質疑

Q 職員の不祥事が発生した中で今回都市宣言をするというのは非常にタイミングが悪いのではないか。

A 不祥事等に対する対応は早急に行うことが必要と考えている。宣言をすることにより虐待について桑名市が真摯に取り組む姿勢を表すものである。

Q 宣言後、施策をどのように充実していくのか。

A 親も含めた子育て支援施策を更に充実させる必要があり、虐待の現場だけをとらえるのではなく、そこに至る経緯についても調査・研究を行い、小さな子から中学生、高校生まで連続してつなげられるような体制づくりを目指す。

■審査案件 委員会開催日:6月26日〔審査件数:3件〕

- 議案第52号　平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)　所管部門
- 議案第61号　桑名市子ども・子育て会議条例の制定について
- 請願第　1号　TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加に反対する請願

主な質疑

平成25年度桑名市一般会計補正予算所管部門に対する質疑

◆商工費について

Q 観光アプリの維持管理を行い、絶えず新しい情報を提供する体制はとれるのか。

A 翌年度以降も新しい機能の追加や利用者アンケート等を通してより良いアプリを目指すとともに、受託事業者との連携により、常に新しい情報提供に努めたい。

◆教育費について

Q 子ども・子育て支援事業計画と就学前施設再編実施計画との関係性・整合性は。

A 子ども・子育て支援事業計画は幼児教育をはじめ、子育て支援、妊婦検診、就労環境等、広範な計画であり、幼稚園・保育所の在り方にも影響を及ぼすものである。再編実施計画については、今回のニーズ調査の結果も参考とするとともに、子ども・子育て支援計画との整合性も見据えて進めていく。

桑名市子ども・子育て会議条例の制定についてに対する質疑

Q 本会議中、市長の答弁で会議の委員を公募するとのことだが、条文に記載はしないのか。

A 条文には記載はしないが、公募を実施していく。

■審査案件 委員会開催日:6月26日〔審査件数:5件〕

- 議案第52号　平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)　所管部門
- 議案第53号　平成25年度桑名市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第55号　平成25年度桑名市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第63号　桑名市水道水源保護条例の一部改正について
- 議案第64号　市道の認定について

主な質疑

平成25年度桑名市一般会計補正予算の所管部門に対する質疑

◆市道上之輪嘉例川線について

Q 近年施工済みの箇所が早くもひび割れているが、その原因は。

A 平成23年度施工箇所で見られる。試験をし、その結果に基づき設計、施工を行ったものの、一部に試験の結果と異なる箇所があったことと、想定以上の交通量によると考えられる。本年は、試験を状態の悪い箇所で行い、より良い施工に努めたい。

◆桑名駅周辺整備事業における駅のバリアフリー化について

Q 自由通路を整備すると、バリアフリー化の補助金返還となるのではないか。

A バリアフリー化は近畿日本鉄道が補助申請をし、計画どおり実行される事業。一方、自由通路を含む駅周辺の整備は、駅西土地区画整理事業においても「東へは自由通路で行けます」と説明している。市長は自由通路を平成33年の国体ぐらいまでにとの思いを申された。今、諸問題を検討しており、しばらくお待ちいただきたい。

平成25年度桑名市水道事業会計補正予算に対する質疑

◆寿町配水管敷設替工事について

Q 工事の目的と次年度以降の予定は。

A 新病院の建設に伴い周辺の都市機能を整備するもので、今年度で終了予定。

■審査案件　委員会開催日:6月27日〔審査件数:3件〕

- 議案第52号　平成25年度桑名市一般会計補正予算(第1号)　所管部門
- 議案第54号　平成25年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第1号)
- 請願第　3号　新病院建設場所の検討と太陽の光を求める請願

主な質疑

平成25年度一般会計補正予算所管部門及び平成2525年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算に対する質疑

◆新病院整備計画の見直しによる約35億円の工事費等の増額について

Q 約35億円の新病院整備事業費増額についてプロポーザル審査において予算増額が予見できたのではないか。

A 予算の増額については3月に入ってから総合医療センターから説明を受けた。今後は市と総合医療センターとの間でしっかりと意思疎通を行い、議会に対する報告については、丁寧な説明を尽くすよう注意をしていきたい。

◆新病院整備事業における償還計画について

Q 基準外の繰出し等がなくても計画に沿って償還できるのか。

A 常に経営コストを意識しながら取り組むことを総合医療センターに求めていく。市は総務省のルールに基づき運営費負担金を交付していく。

これは、完成イメージであり、実際の建物とは異なります。

代表質疑

フォーラム新桑名　安藤　寛雅

◆行財政改革について

質疑　「積極的に取り組む姿勢を明確に位置付け」の意味について。

答弁　本市の財政状況からさらなる行財政改革に取り組む必要があり、新総合計画策定において次期行政改革大綱を総合計画の基本計画と同列に位置付けるために、「桑名市行政改革推進委員会」を地方自治法上の附属機関として位置づけ、役割を明確化したい。

◆地理的優位性を活かした元気なまちについて

質疑　多度街路灯整備事業の目的・成果について。

答弁　多度駅から多度大社前までの区間に馬をモチーフにした街路灯を全体で60基程度設置を予定し、観光施設等の利便性と満足度が向上し、年間を通して観光客が増加することで、地域住民との交流等地域の活性化に繋げていきたい。

桑風クラブ・無会派　伊藤　文一

◆桑名市総合医療センターの医師確保の状況について

質疑　特に、小児科・産婦人科医の確保を伺う。

答弁　三重大附属病院に医師派遣要請を基本とし、全国的なアプローチや、次期センター理事長には、三重大学学長から附属病院院長をご推薦頂いたとともに医師派遣支援の言葉も頂戴し、市は期待している。

◆桑名北部東員線について

質疑　整備促進の状況について伺う。

答弁　この路線は、国道258号線から陽だまりの丘北部を経由し東員町まで続く都市計画道路であり、工業団地・地域間を結ぶ路線である。計画にあたっては、場所により長い橋梁施工や258号線との取り付け等について課題も多く存在しているが、交通需要を担う路線であると認識しており、整備実現に向け取り組んでいきたい。

代表質疑・議案質疑

希望　倉本　崇弘

◆新設の教育委員会理事の役割について

質疑 理事ポストは病院の再編など特命事項がある。新設の教育委員会理事の特命事項は何かを市長に問う。

答弁 事務担当である。

◆教育委員会の3人体制は無駄では？

質疑 従来教育委員会事務局は教育長、教育部長の2人体制でやってきた。今議会で教育長人事が出てくるようだがそうなると教育長、教育部長、理事の3人体制になる。特別な特命事項のない理事の配置は無駄ではないかを市長に問う。

答弁 現在、必要であるため置いている。

新自由クラブ　渡邊　清司

◆予算編成について（行政事業について）

質疑 就任中、最優先で取り組む事業は何か。

答弁 今年度から総合計画を進める上で、市民ニーズを把握し、財政面では効率的な財政・事業の優先度や重要度で検討し、総合計画に位置付ける。喫緊の課題は、桑名市総合医療センターの開院。同時に医師の確保、通院面での安全対策、周辺の渋滞対策等対応しながら、魅力的な病院となるよう努める。

質疑 継続、中止、凍結など、事業の選択についてを問う。

答弁 財政状況も踏まえ、市民の意見も取り入れ、経常的経費も含め、事業の聖域を設けず、必要性・優先性を定量的に判断し、事業の選択を行いながら、効率的に推進していく。また、計画的に公共施設の統廃合を考えていく。

新桑会　飯田　尚人

◆新病院整備事業費の見直しについて

質疑 当初事業費106億円が141億円で1.3倍なのに対し、実施設計費は8千万円が2.3億円で約3倍。施工監理費は4千万円が1億円で2.5倍である。事業費の増加率より高い割合である理由について。

答弁 算出にあたっては、国土交通省告示第15号に基づく建築業務の報酬の算定を運用している。

◆新病院施設整備費用について

質疑 建設に係る保証金、建物補償費用、営業補償金等、工事費とは別の費用も含め、事業全体の総費用はどれほどになるのか。

答弁 整備事業費141億円の他、新病院の開設後、B・C棟と桑名南医療センターの建物取壊し費用が発生する。エネルギー供給設備等も仕様が決まっていないため業務委託に係る費用は今後協議していく。

日本共産党桑名市議団　石田　正子

◆市長の政治方針を問う

質疑 総合計画策定事業について、総合計画案策定をどのように進めると考えているか。

答弁 計画原案の策定は、本部会：部長級、部会：課長級、ワーキンググループ：係長主査主任級の職員で構成する。さらに三重大学との包括協定内容の一つとして総合計画策定に協力をうける。総合計画審議会は各団体代表者・学識経験者・公募委員で行う。

質疑 行財政改革について、行財政改革に取り組む位置づけとその方向性は。

答弁 計画期間を残しているが、次期行政改革大綱を総合計画の基本構想の下に基本計画と同列に位置付けることで進捗、歩調を合わせていく。
行政改革大綱の作成は『行政改革推進委員会』で審議し総合計画の重要な柱として推進していく。

議案質疑・一般質問

桑風クラブ・無会派　岡村　信子

◆市長就任6ヶ月間に新聞報道された職員の不祥事や勤務時間内での若手職員とのランチミーティングについて

質問 これらに関し市長の所見を伺う。

答弁 本市の職員の起こした暴行事件については、議員・市民の皆さんに深くお詫び申し上げる。ランチミーティングについては、若手職員と昼食時に意見交換をするため、勤務時間内に集合させた。これは、公務の一環として各所属長に対し、配慮をするよう依頼したものである。会議の時間が押して会議室前に待機をさせることになった。挨拶等については、今後は研修等で指導を図っていきたい。

◆総括副市長就任3ヶ月について

質問 自己採点するならば何点か。

答弁 就任後3ヶ月で自己採点できる段階ではない。

新自由クラブ　倉田　明子

◆子どもを虐待から守る都市宣言の制定について

質疑 都市宣言をすることで目指す市の方向性を問う。

答弁 今回の都市宣言は、児童虐待防止施策の"ゴールでなくスタートである"と考えている。民間団体も含めた関連機関の協力を得ながら、児童虐待予防の施策を継続的に考え、実施することが重要と考える。

再質疑 市長はどのような思いで都市宣言を行うのか。

再答弁 私にも子どもがいるが、昨年度の桑名市における死亡事例や連日報道される全国の児童虐待の記事をみて、児童虐待防止策を実施していくことは"待ったなし"の状況であると認識している。私は、ビジョンの中で「桑名市をこどもが3人以上育てられるまちに」と掲げている。健康に、安全に、安心して子育てできるよう、みなさまにもアイデアを出し合っていただき、施策につなげていく。

希望　伊藤　恵一

◆桑名市借金とその見通し

質問 長期継続契約の総額は。2007年3月末の借金『金利含む一般・特別・企業会計と広域連合・組合分、債務負担行為の合算』は1,658億円。2012年3月末借金1,498億、3年分の新病院借金113億と今後40年間の公共施設維持費不足額407億の合計2,018億円に長期継続も加え総額を把握したい。

答弁 本年4月1日時点で486件35億3千万円余である。

再質問 2,018億に35億を加え2,053億だが、この5年間の125億円の借金削減効果等も市民にお示し頂きたい。

再答弁 普通会計借入推移に加え財政パンフレットでも全体がわかるものを作り市民に周知対応して参りたい。

フォーラム新桑名　松田　正美

◆桑名駅及び駅周辺の今後について

質問 近鉄桑名駅側のバリアフリー化について、現在の進捗状況は？またいつ完成するのか？

答弁 国の事業採択が決まり、事業に着手した。事業主体は近鉄で、今年の9月末に調査設計を行い、平成27年4月に供用開始の予定。

質問 桑名駅東西通路についていつになったら桑名駅の東西を自由に行き来できるのか？

答弁 東西自由通路は、必要不可欠と考えているが現在のところ市の財政状況を見据えながら、事業着手に向けて努力したい。

質問 桑栄メイトビルの建て替えについて、老朽化した建物の今後について問う。

答弁 桑栄ビル管理組合で建て替え決議に向けた検討が進められている。

一般質問

日本共産党桑名市議団　星野　公平

◆教育委員の「教育委員会」について

質問 教育長不在の教育委員会は、その機能を充分果たしているのか。特に幼稚園再編計画について委員会の意見（パブコメの重視）は事務局に伝わっているのか。

答弁 定例会に加え、臨時会を開くなどして、課題に対して速やかな対応に心がけたほか、事務局との情報共有と連携を密にしながら、委員長を中心に課題解決に努めた。就学前施設再編実施計画については、委員会からは、今後も引き続き、きめ細かい意見の吸い上げと丁寧な説明に努めていただきたいと要望した。

質問 委員会の座席配置は、委員の合議制であり同じテーブルに事務局が入るのはおかしいのではないか。

答弁 変えさせる。

市民クラブ　小川　満美

◆産婦人科医師による性に関する正しい知識及び命の尊厳の特別授業の実施について

質問 「次世代育成支援後期行動計画」には、「性に関する正しい知識の普及」と明記されているが、専門家による性教育をすべての中学校で実施するのか。

答弁 「性に関する正しい知識」を教育していくことは大切であると認識しており、各学校に対しても十分配慮するよう指導していく。

◆ひとり親家庭の就労支援について

質問 福祉の担当課とハローワークの連携による児童扶養手当受給者に対する就労支援である「母子自立支援プログラム策定事業」を実施するのか。

答弁 児童扶養手当の受給者が年々増加傾向にあり、経済的な自立に向けて就労支援することは大切である。就労支援の方策の一つとして協議・検討する。

無会派　辻内　裕也

◆災害時における要援護者支援について

質問 要援護者台帳の整備状況について問う。

答弁 昨年10月以降、民生委員の皆様に御協力を頂き、高齢者実態調査を実施する際、要援護者台帳への登録を呼び掛けている。また、「広報くわな」や桑名市のホームページにおいても、要援護者台帳への登録を募集している。現在、個人情報を集約し、地図情報と併せて提供することが可能となるよう、要援護者台帳システムを構築する作業を積極的に進めている。

質問 要援護者情報の他団体への提供状況について問う。

答弁 本年9月を目処に、災害時の要援護者の避難に対する支援に御協力頂ける自治会、自主防災組織、民生委員等から要請がある場合、提供に同意された要援護者の情報を提供する事業を開始する予定。

公明党桑名市議員団　畑　紀子

◆風疹対策について

質問 4月18日に公明党市議員団が市長に提出した風疹対策についての要望書から今後の対策を問う。

答弁 周知・啓発については広報やホームページ等で注意喚起を行っている。助成制度の導入については、県の枠組みをふまえて費用助成を検討している。

◆女性防災人材育成について

質問 東日本大震災では女性の視点からみた課題が明確になった。災害時に、即戦力として活躍できる女性リーダーの育成と活用が必要なのではないか。

答弁 重要な取り組みであり、女性の視点や意見を取り入れることは災害時要援護者対策に繋がるものと考える。他市の状況を調査研究し、既に活動している女性消防団と連携し情報交換しながら女性防災リーダーの育成に向けた取り組みを進めていく。

一般質問

希望　清水　教代

◆市長のマネジメントについて

質問 トップマネジメントのお考えについて

市長になられて半年が経過した。伊藤市長のカラーが出てくるのではないかと期待をしている。そこで市長としてのトップマネジメントのお考えをお聞きする。

答弁 組織全体の基本的な考え方や方向付けを決定できる機関であると認識している部長会議を開催し、私の考えや部長の考えを意見交換するなど部門責任者との情報共有や組織として幹部職員の合意形成を図っている。また、若手を中心にしているのではないかとのことだが、全員参加型市政を推進するため、若手職員のコミュニケーションも大切と考えているので、若手職員との意見交換も実施していきたいと考えている。

新桑会　市野　善隆

◆市長を含む特別職の退職手当について

質問 3月市議会において、3年間で職員の退職手当が約17%削減される条例改正(案)が上程され、市長の退職金「4年任期、1,850万円余」について職員同様に削減すべきではないかと質問した。

鈴鹿市は、報酬審議会の答申を受け、6月市議会に市長を含む特別職の退職手当削減条例(案)が市議会に上程中である。

桑名市も同様に、市長を含む特別職の退職手当のあり方を減額を含め検討すべきではないのか。市長の所見を問う。

答弁 現在の退職手当が適正であるのかというところから検討が必要であり、抜本的な退職手当のあり方、特例条例による削減実施なども含め、任期中に検討していきたい。

希望　伊藤　研司

◆公立幼稚園の再編統合に反対!

質問 公立と私立幼稚園がこれまで通り、お互いに切磋琢磨して運営していくのがベストであり、統廃合に反対。

就学前再編検討委員会での発言で、「公立幼稚園が小学校に併設されているのは、極めて前近代的システム。足を引っ張っている」との発言があった。

教育委員会としては、その発言に対しどの様に考えているか?

答弁 公立幼稚園の園児減少は、午後2時までという保育時間が、ニーズに合わなくなってきたことが原因。再編を機に、午後2時から4時まで預かり保育を実施する。幼稚園が小学校に併設されていることが、園児減少に影響しているとは考えていない。

市民クラブ　松浦　祥子

◆桑名市地域防災計画について

質問 避難所に障がい者センターを作る予定は。

答弁 桑名市において指定している避難所は「避難所」「一時避難所」「特別避難所」と区分し災害に備えている。「障がい者センター」の設置については現在どの特別避難所をどういった特性をお持ちの方を対象とした避難所にするかについて区分していくための整理を進めている。

◆男女共同参画について

質問 女性弁護士相談を毎月の実施にするか。

答弁 「桑名市男女共同参画基本計画」にある男女共同参画を阻む暴力の根絶という課題に対して相談体制の充実が重要であることは十分認識している。毎月の実施については実情をふまえながら庁内各部署と連携し検討していく。

桑名市議会からのお知らせ

9月定例会の開催日程（予定）

9月定例会が、9月4日(火)～10月1日(火)の28日間の予定で開催されます。

●9月 4日(火)
本会議（議案上程・提案説明）

●9月10日(火)～13日(金)
本会議（議案質疑・一般質問）

●9月17日(火)～25日(火)
常任委員会・特別委員会
決算特別委員会（全体会・分科会）

●10月 1日(火)
本会議（委員長報告・討論・採決）

※9月10日(火)～13日(金)は、ケーブルテレビでもご覧になれます。

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。

日程はこの市議会だよりや市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえお気軽にお越しください。

インターネット録画中継

より多くの方に本会議をご覧いただくために、インターネット録画中継を実施しています。

傍聴に来ることができない方でも、インターネットにより本会議（代表質疑・議案質疑・一般質問）の様子を録画中継で見ることができますので、ぜひご覧ください。

会派異動のお知らせ

6月1日、「桑風クラブ・無会派」の南澤幸美と杉浦繁生が離脱し、2人で新会派「絆」を結成しました。

テレビ中継のお知らせ

本会議の議案質疑・一般質問をケーブルテレビで生放送します。ぜひご覧ください。

対象地区	チャンネル	放送時間
桑名地区	地上デジタル121ch	午前10時から
多度地区	地上デジタル122ch（サブチャンネル）	
長島地区	地上デジタル123ch（サブチャンネル）	

※サブチャンネルでご覧いただくには、リモコンの数字ボタン②を押し、チャンネル（選局）ボタンの上方向を1回または2回押して下さい。

議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています

5月

2日	総務政策委員会・協議会
8日	全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会
14日	福祉安全委員会・協議会、各派代表者会議
15日	教育経済委員会、議会報告会班別会議
16日	建設水道委員会
20日	全員協議会、福祉安全委員会、第146回三重県市議会議長会定期総会
22日	第89回全国市議会議長会定期総会
27日	議会報告会班長会議、教育経済委員会
28日	桑名・員弁広域連合議会定例会、総務政策委員会
30日	福祉安全委員会、新病院の整備等に関する特別委員会
31日	議会改革検討会

6月

3日	全員協議会、各派代表者会議
5日	各派代表者会議、議会運営委員会
11日	広報広聴委員会
12日	6月定例会（閉会7月2日）

7月

2日	議会改革検討会
8日	桑名広域清掃事業組合議会
10日、11日	全国市議会議長会研究フォーラム
16日	広報広聴委員会
18日	木曽三川公園建設促進下流域関係同盟会通常総会
22日	全国市議会議長会第135回地方行政委員会
24日	広報広聴委員会
25日	全員協議会、新病院の整備等に関する特別委員会
29日、30日	福祉安全委員会視察（千葉県千葉市・浦安市）
30日、31日	総務政策委員会視察（東京都荒川区・武蔵野市）

編集後記

前回の議会だよりから、議員の質疑・一般質問のコーナーのスペースを変更したところ、市民の方から「読みやすくなったよ」という声をいただきました。今後も市民の皆様にわかりやすく読みやすい議会だよりを作成していきます。

広報広聴委員会

委員長　平野　和一
副委員長　愛敬　重之
委員　辻内　裕也
畑倉田　紀子
市野　善隆
小川　清美
伊藤　惠一
杉浦　繁生
石田　正子
岡村　信子

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

お問い合わせ

桑名市議会事務局
〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話：0594-24-1304／0594-24-1305
FAX：0594-24-1359
メールアドレス：gikaijm@city.kuwana.lg.jp

市議会の詳しい情報は桑名市議会のホームページをご覧ください。 桑名市議会 検索